

令和5年度



旭川市立神楽小学校 Asahikawa KAGURA ELS

《教育目標》



◎考える子《知》 ◎助け合う子《徳》 ◎じょうぶな子《体》

創造豊かで主体的な思考

優しさと思いやり

心身のたくましさ実践力

【学校の取組】

- 感染症等健康・安全確保と教育活動への対応
- 「組織マネジメント」教育活動の円滑化
- 「働き方改革」児童と向き合う時間確保
- 「小中連携・地或連携」の推進

【教育目標の実現に向けて育てる資質・能力】

《知》

《徳》

《体》

- ◇基礎基本，創造
- ◇筋道立てた表現
- ◇学びを生かす

- ◇他とかがわる
- ◇生きて働く学び
- ◇自主的・実践的態度

- ◇健康・安全の保持
- ◇変化に応じた遊び・運動
- ◇自立の心と体

【神楽小・神楽岡小・神楽中 9年間の取組】

- 9年間でめざす子供の姿
「自ら課題に取り組み、地域を愛する子ども(生徒)」
- 保護者・地域の現状と願いと具体的な活動
- 教育目標の共有と9年間を見通した学力向上
- 小中共通・小中連携・地或連携の活動推進

【PTA 活動の取組】

- 学校を生涯学習の核として，子供の諸活動の充実と子供の幸せを願い，連携・融合を深め合う
- 父母と教師が相互信頼を基調として，子供の健全育成についての共通理解

【コミュニティー・スクールの取組】

- 感染症はじめ健康・安全確保等，学校教育活動の理解
- 学校運営の地或住民等の理解・協力，参画等の促進
- 活動の発信及び地或住民等の意見要望把握
- 地域と連携した活動の推進
- *学校運営協議会，地或学校協働活動

【実践の合い言葉】開校 101 周年目のスタート 「笑顔・信頼・助け合い」

【令和5年度 学校経営の基本】

- (1) 地域とともにある学校づくりの推進
- (2) 全職員が自主的・主体的に経営参画を図る組織マネジメント
- (3) 学校教育目標の具現化を目指すカリキュラム・マネジメント
- (4) ICT を効果的に活用した学び
- (5) キャリアステージに応じて求められる資質・能力を高める研修活動
- (6) 安全で潤いのある教育環境整備
- (7) 組織で取り組む危機管理（いじめ、コロナ対策、自然災害 等）
- (8) 適切で効果的な運用を図る学校事務
- (9) 9年間を見通した小中一貫教育

【令和5年度の重点目標】

- 『見通しをもち、自ら考える力を身に付けた子ども』の育成
- 《取組の柱》
- ☆見通しをもち、創造力を発揮する取組
 - ☆さまざまな教育資源を活用した「社会に開かれた教育課程」の実施
 - ☆小中一貫教育の推進

《R5 神楽小学校改善プラン》

「考える子」

- ～基礎学力の確かな定着と向上～
- 授業改善を目指す校内研修の充実
 - 見通しをもち筋道を立てて考える力、自己表現力、コミュニケーション力の育成
 - 全校一斉の朝読書，家読の推進等による読書活動の充実
 - 諸調査・観察等，多面的な評価計画の改善充実

「助け合う子」

- ～豊かな美しい心の育成～
- 歌声タイム・神楽っ子タイムの取組
 - 児童会活動の充実
 - 教育環境構成の工夫・整備
 - 「道徳の時間」を要とし，教育活動全体で道徳的実践力を高める指導の充実
 - 豊かな体験の充実
 - キャリア・パスポートを活用した自己有用感，自己肯定感を育むキャリア教育の推進

「じょうぶな子」

- ～強い心と実践力の育成～
- 四季の変化に応じた遊びと年間を通して運動に親しむ体育活動の充実
 - 全学年で新体力テスト実施，現状把握，体力向上の推進
 - 運動の日常化や食に関する指導などを通して，知・徳・体の調和のとれた発達を促す教育課程の実施

信頼される開かれた学校

- ～よりよい教育活動を目指して～
- 学校教育活動の積極的な発信
 - 状況に応じ，地或活動への積極的な参加と協力（旗の波，花火インKAGURA，お神楽）
 - 地或活動・PTA活動での学校教育資源（人・施設・備品）の積極的な活用
 - 来校者に対する温かい対応
 - 温かく・爽やかな電話対応
 - 保護者や地或の学校に対する要望や意見の積極的な受信とそれに対するスピード感とタイムリー性のある組織的な対応

令和5年度



旭川市立神楽小学校 Asahikawa KAGURA ELS



《教育目標》 「未来に向かって 進んでまなび たくましく生きる子ども」の育成

◎考える子(かしこく～知)

◎助け合う子(なかよく～徳)

◎じょうぶな子(たくましく～体)

創造性豊かで主体的な思考

やさしさと思いやり

心身のたくましさ実践力

《学校教育目標と目指す子どもの姿について、求める三つの柱で再整理》* R5 重点

	【知】 創造性豊かで主体的な思考	【徳】 やさしさと思いやり	【体】 心身のたくましさ実践力
「学ぼうとする力」 【学びに向かう、人間性の涵養】	課題を捉え、解決し、学びを社会や生活に生かそうとする	自他の思いを大切にし、自主的・実践的に未知の諸問題を解決しようとする	自立の心と体を持ち、願いを実現しようとする
「学んで得る力」 【知識及び技能の習得】	基礎・基本を身に付け、創造する力を高める	日常の事象に対して、興味・関心を持ち、主体的に他とかがわる	生涯にわたって健康・安全を保持し粘り強く取り組む
「学ぶ力」 【思考力、判断力、表現力等の育成】	見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する	社会や生活に生きて働く学びを実現する	自己の運動・健康課題を見付け、工夫して遊びや運動に取り組む

《知・徳・体の観点から、本校児童の実態》* 令和4年全国学力学習状況調査、学校評価、体力調査

	考える子(かしこく～知)	助け合う子(なかよく～徳)	じょうぶな子(たくましく～体)
実態	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いをきちんと言葉で表現しようとする。 ○資料や文章、話の組み立てを意識し工夫して発表している。 ○自力解決の力や姿勢が高まっている。 ○友達と話す活動を通して自分の考えを深めたり広げたりする。 ○算数や国語、理科の勉強は大切と思う児童が多い。 ▲基礎的基本的な内容の定着の一層の重視。 ▲長文読解や複数の条件を基にした課題解決力をさらに伸ばしたい。 ▲読書を「好きでない」「あまり好きではない」児童の割合が2割。 ▲一日当たりのゲームや学習やゲーム以外の動画視聴3時間以上が1割 	<ul style="list-style-type: none"> ○夢や目標をもっている児童が多い。 ○思いやりのある児童が多い。 ○いじめがどんなことがあってもいけないと思っている。 ○友達と協力するのが楽しいと思っている。 ▲自己肯定感が低下傾向にある。 ▲進んでお手伝いや仕事をする児童の割合が減少傾向。(保護者評価) 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで体を動かす児童の割合が高い。 ○休み時間にグラウンドや体育館で遊ぶ児童が増えてきている。 ○朝マラソンやその他の体力作りに取り組む児童が多い。 ○男子～握力、ソフトボール投げ、20mシャトルランでは全国平均より大きく上回った。(R1調査) ▲マラソンや体を動かすことへの苦手意識。 ▲体力向上への取組については、受け身的な姿勢が見られる。 ▲給食の残食量が多い。(市教委報告) ▲集団行動が苦手な児童が増えてきた。

《令和5年度 重点目標》『見通しを持ち、自ら考える力を身に付けた子ども』の育成

【取組の柱】 ○見通しを持ち、創造力を発揮する取組 ○さまざまな教育資源を活用した「社会に開かれた教育課程」の実施 ○小中一貫教育の推進

「見通し」とは⇒創造、イメージ、行動の方向（実施や抑制）、目標（行動の意味）や感情（他を思いやる）

- 教科の学習において、「基礎基本の獲得」「結果や方法の見通し」
- 道徳「生活に生かす」「他を思う」
- 特活「仲間づくり」
- 生活、総合「事象のつながり」
- 生徒指導、保健指導⇒「健康安全」「安全指導」「いじめ」「コミュニケーション力」

「自ら考える」とは⇒「内発的動機付け」「見通し」「振り返り」の積み重ねにより思考力の育成

児童、保護者⇒丁寧、根気、粘り強いかかわりや指導